

令和7年度第3回埼玉県感染症対策連携協議会 議事録

1 日時 令和8年2月9日（月） 18時30分～19時00分

2 開催方法 Teamsによるオンライン開催

3 出席者

【委員】（24名出席）

会場：金井委員、縄田委員

オンライン：丸木委員、松山委員、岩崎委員、浅野委員、武笠委員、澤登委員、平野委員、坂木委員、篠塚委員、遠藤委員、遠井委員、
内田委員、白石委員、島田委員、星野委員、山下委員、桑島委員、丸山委員、岡本委員、青木委員、荒井委員、佐藤委員

【事務局】谷口感染症対策課長及び担当者

【傍聴者】一般の傍聴希望者なし

4 議題

（1）議題

ア 埼玉県新型インフルエンザ等対策行動計画の進捗状況について

イ 市町村行動計画改定の進捗状況について

ウ 令和7年度研修・訓練の実施状況について

エ 医療提供体制検討部会における検討状況について

5 内容

(1) 開会

(2) 議題

【主な意見】

- 県の感染症専門人材研修の対象設定について確認。新興感染症の発生時に、感染対策に慣れた施設と慣れていない施設に格差が生じると、患者の受入れをあまねく各地域に振り分けることができなくなってしまうため、偏在の解消について検討いただきたい。
- 情報共有と連絡方法について、各関係者がシームレスに動けることが大事である。
- コロナの時の経験を踏まえると、疑似症病床の確保が病院側としては非常に大変であった。協定の確保病床の中に含めるよう転用を検討するとのことだが、別個に検討しないと非常に難しい。疑似症患者は、感染の有無が確認できるまで個室での隔離が必要となる。コロナの際も感染の有無がはっきりしなかったため、個室を確保するという対応となった。各医療機関と協定を見直す際には、この点を含めて検討していただきたい。